



松原仁 (まつばら・じん)

世襲をどう禁  
止すべきか。  
松原 世襲議員支配  
の弊害は極めて大き  
いが、筋論からいけ  
ば、能力さえあれば  
世襲も問題ない。ア

世襲議員の弊害とは具体的に何か。  
松原 日本の混迷の原因は、世襲議員ばかりが政治の中枢を支配するようになってきていることにある。  
世襲議員は、日本のために何かをしようという使命感、志ではなく、単に親父が政治家だったからといった、環境によつて議員になるケースが多い。ゼロから政治家を目指す場合  
には、極めて強い情熱が必要だ。当選するまでその情熱を維持するには、強い使命感を抱き続けなければならない。ところが、世襲議員はそれほど大きな情熱を持たずに、バッジを受け継ぐことができる。強い使命感を持たずに政治家になれば、官僚の言いなりにもなりやすい。

# 世襲議員の比率を制限せよ

民主党・衆議院議員

松原 仁

レキシランダー大王は、マケドニア王のフィリップ二世の子だったが、彼に能力がないとは誰も言わない。判断は有権者に委ねられているのである。つまり、本人の能力がないにもかかわらず、世襲議員として当選できる選挙制度が問題だ。ただ、すべての政治家の配偶者や親族の立候補を禁止するということはできないから、同一選挙区で配偶者や三親等以内の親族が連続して立候補することを禁止するという形になるだろう。

政治団体を親族が継承するということは、本来ありえないことだ。すでに、民主党は六月一日に国会議員の配偶者や三親等以内の親族が資金管理団体を引き継げないようにすることを盛り込んだ「政治資金規正法等の一部を改正する法律案要綱」を提出した。仮に、この法案が与党の賛同を得られない場合には、党のマニフェストに盛り込む方針だ。

世襲禁止についての自民党の姿勢をどう見ているか。  
松原 自民党は、「次の次の選挙から」などと言っているが、それはやらないといっているに等しい。

より大きな問題は、自民党の中で、世襲議員の出世が早い

ということだ。世襲議員は議員の中のエリート・コースに  
なつてしまつてゐる。例えば、小泉ジュニアが議員になれば、  
「親父には世話になつたからね」という感じで優遇され、早  
く出世するだろう。

議員に当選させるかどうかを決めるのは有権者だが、議員  
になつてからの出世は各党の政治家たちの判断に委ねられて  
いる。本人の資質とは別の次元で、世襲議員をエリート視し  
たり、親父との人間関係で優遇するというのは、大きな問題  
だ。「親父に世話になつたから」といった、縁故、義理人情  
が絡み、いわば「インナー・サークル」で日本の国政を壟断  
することになる。これは極めて深刻な問題だ。

例えば、相撲部屋で外国人力士の数を制限したように、各

## 生活実感を知らない世襲議員

共産党 参議院議員

小池 晃

世襲制限について共産党はどのように考えているか。

小池 ものには限度があるということだ。職業選択の自由が  
あるわけだから、政治家の子供が政治をやつてはいけないと  
いうことではない。適切な能力のある人であれば、親が政治  
家であっても、政治をやつてはいけないということではない。

問題なのは、現在の小選挙区制において、その地域で一人

党が世襲議員（候補）の数を全議員、あるいは全候補者の何  
割に制限するという方法は効果があるかもしれない。例えば、  
世襲制限の比率としては二〇％程度だろうか。

ただ、ある党から立候補しようとした二世が、党の決めた  
制限によつて立候補できないということになれば、それは日  
本国民としての人權を侵害されることになる。したがつて、  
別の政党からの立候補や無所属での立候補は認められること  
にする必要がある。

しかし、この問題もまた、最終的には有権者の見識にかか  
つてゐる。縁故によつて議員が出世する体質を持つた政党の  
あり方を、有権者がどう判断するかという問題だからだ。

しか代表を選ばないというしくみの中で、その地域の選挙区  
をそのまま子供が引き継ぐということだ。それは、一つの家  
系だけに民意が委ねられるということになる。

特に自民党の三分の一以上が世襲という状況だ。麻生内閣  
にいたつては十八人の閣僚のうち十一人が世襲議員で、ほか  
二人が異議の「二世議員」だ。麻生さんまでの首相も四代続